

こんな「まち」がイイ

「コンパクトなまちづくり」構想

1. 多彩な交流で賑わう『まち』にするために…

『海・自然・歴史・文化・伝統に育まれた小浜』を『訪れたいまち』にするため、子供から高齢者まで多くの人を招き入れ、『交流人口の増加』を図ります。

2. 暮らしやすく便利な『まち』にするために…

『誰もが安心して暮らせるまち』、『住んでみたくなる便利で快適なまち』の実現を目指し中心市街地における『居住環境の向上』と『商店街の活性化』を推進します。

アクセスしやすい「まち」

賑わいある「まち」

歴史や個性を活かした「まち」



琵琶湖若狭湾快速鉄道の開通で誰もが移動しやすく、過度に車に頼らない「まち」。



居住、公共公益施設、事業所、商業等が集積した「まち」。



地域の歴史・文化やまちづくりの蓄積を活かした「まち」。

歩いて暮らせるまちづくり

(中心市街地の再生)

生活者の利便性向上

市民生活の暮らしやすさの確保

環境負荷の低減

公共機関の確保・活用、農地や自然環境の保全

持続可能な運営管理

行政サービスの確保、投資的経費や維持管理コストの低減

議会での発言録

温泉開発をつばき回廊の場所で……起爆剤に

私案でございますが「つばき回廊」の場所に考えてみてはいかがでしょうか。旧三方町にお聞きして成功報酬の業者のことも調べてみましたが、初期経費を抑えて事業化することも出来そうです。近隣のホテルに権利を買っていただければ、一気に温泉町になります。



イメージ

観光地としては食のまちに温泉開発がなされれば、滞在型観光を進めていくには大きな魅力であると思います。

また、市民にとっても憩いの場や癒しの場として喜ばれ、訪れたいまち、住んでみたいまちとして、大きな評価を得られるのではないのでしょうか。

19年6月一般質問にて

観光局構想にエール

松崎市長公約の観光局を半官半民のまちづくり会社にし、そこで策定する『中心市街地活性化協議会基本計画』が国の認定を受けられるよう努力していきましょう。

世界中で日本の歴史文化に対する感心が高まり「クールジャパン・リアルジャパン」と言われ、本物の、俗されていないこの小浜市のような場所がアジアの富裕層をはじめとする外国人に注目を浴びております。

京都から周遊出来て、本物のわびさびの日本を観光できる場所として、ほかの自治体に先を越されないよう、一躍全国区の観光地を目指し早い準備を進めていきましょう。

20年9月一般質問にて

市は、将来のまちづくりの為に、つばき回廊商業棟を取得することに決めました。この場所を有効に活かし、「小浜らしい」オンラインのまちにしていけるよう、一意専心励む所存でございます。市民の皆様のご支援ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

詳しくは、Google で、ご覧下さい。